

2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール



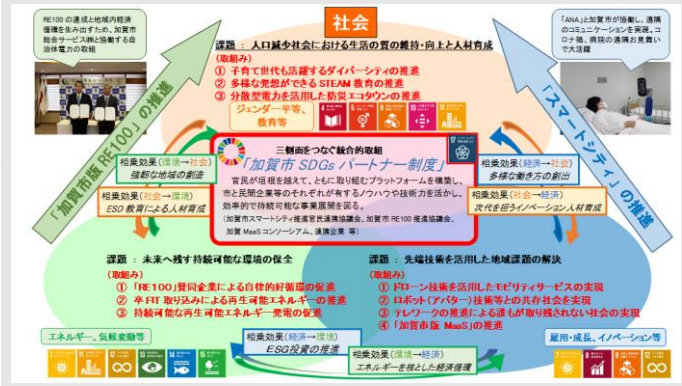
自治体の概要

- 人口 約6万5千人
- 面積 約306km²
- 全国有数の温泉観光地
- 伝統的工芸品の九谷焼・山中漆器の発祥の地



今後のビジョン・計画

「スマートシティ」と「加賀市版RE100」の2本柱によるSDGsの実現

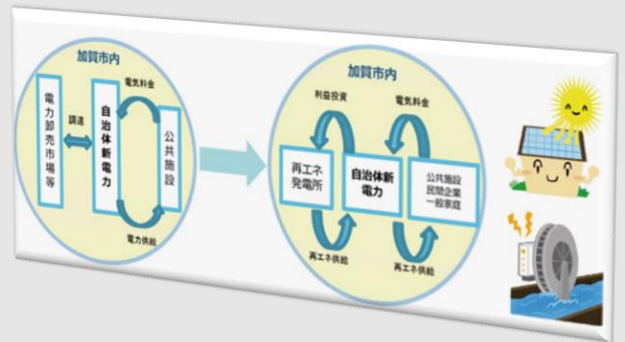


SDGsに関する特徴的な取組

●加賀市版RE100

市が100%出資する加賀市総合サービス(株)を通じて、市内のエネルギー需要を地産の再生可能エネルギーで賄う「自治体新電力」事業に取り組む。

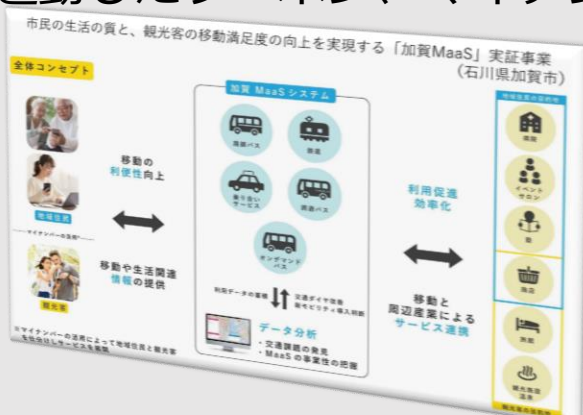
卒FITの買取推進など供給量の確保に合わせ対象施設を拡大していき、脱炭素による環境と地域経済の持続を図る。



●加賀市版MaaS

MaaSプラットフォームの構築により、市内公共交通のシームレスな利用を可能とするとともに、施設の混雑状況と連動したクーポン、マイナンバーカードを利用した本人認証

による定額乗り放題チケットの発行など、移動の促進による地域経済の活性化を図り、持続可能な公共交通と地域経済の両立を目指す。



公式サイト：官民協働による「加賀市は、スマートSDGsへ。」

https://www.city.kaga.ishikawa.jp/shisei_gikai/smartcity/5419.html